

有限会社ワコーメタル

配電盤など大型筐体の 板金加工で定評

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
メイドイン
ジャパン



浄水場向けの屋外制御盤の溶接

主な事業内容

板金加工による
大型筐体の製作

主な取引先(納入先)

和宏電機工業、伊予電機、
大同電機製作所

主な製品

キュービクル、配電盤、
制御盤の筐体

業務内容 最新のファイバレーザ 加工機を導入

ワコーメタルは、高圧受配電機器（キュービクル）や配電盤、太陽光発電機器などの筐体を、板金加工で製作している。鉄やステンレスなど多様な素材を扱っており、特に大型製品のオーダーメイド製作を得意とする。電力会社や公共インフラ企業など、高い品質と安全性が要求される業界からの信頼は厚い。

創業は平成12年。寝屋川市に本社を置く高圧受配電機器などのメーカー・和宏電機工業の板金部門が独立して業務を始めた。平成15年に現在の日野和好社長が就任してからは、設備投資を積極化して事業を拡大。令和4年には最新のファイバレーザ加工機を導入し、環境にも配慮した高精度な製品づくりに努めている。

強み 材料の調達から製品の 最終検査まで一貫生産

同社の強みは、ファイバレーザ加工機などの最新設備に加え、高難度の案件にも応えられる確かな技術と専門知識を持つ人材が揃っていること。溶接工は全員、日本溶接協会認定のSAI

2F資格を取得している。

また、同社は材料の調達から製品の最終検査まで自社内ですべて完結する、一貫生産体制を維持することで短納期・低コストを実現。VA/V E提案を進めることで、コストダウンと品質向上の両方を同時に達成する取り組みも行っている。こうした点が評価され、顧客のリピート率は90%以上になる。

地域貢献 地元の子供たちの キャリア教育を支援

産学連携や地域貢献に熱心なのも同社の特長だ。クラウドファンディングを活用して、同志社大学の学生と共同でアウトドア製品を開発。追手門学院大学とは、製造業の魅力を伝えるメディア事業「ブループリント」を共同で展開している。

また、摂津市教育委員会から「キャリア教育応援企業」として、認定された。摂津市主催の「せつつキッズフアクトリー」にも参加し、地元の子供たちのキャリア教育支援としてオープンファクトリーを実施したり、ハロウィンやクリスマスなどのイベントを積極的に開催するなど、地域貢献を行っている。これらの活動を通して、地域からも信頼され続ける企業をめざしている。

社長あいさつ



代表取締役社長
日野 和好さん

当社は平成12年の創業時から公共事業の防災設備機器、大手電機メーカーの工場向けキュービクルなど電気設備の筐体製作を主に手がけてきました。その中でQCDの重要性を認識し、お客様の信頼を得てきました。令和4年からはファイバレーザ機を導入して新規事業にも取り組んでいます。昨年からイベントなどによる地域貢献や産学連携による取り組みにも挑戦しています。

主な保有設備

- ファイバレーザ加工機
VENTIS-AJ アマダ製 1台
- タレットパンチプレス
EMZ-3610NT アマダ製 1台
- ベンダー HD-1303NT アマダ製 1台
- バンドソー H-250D
アマダマシンリー製 1台
- アイアンワーカー IW-45
アマダ製 1台

大阪
06

住 所／〒566-0052
摂津市烏飼本町
2-12-32

T E L／072-653-3011
F A X／072-653-3051

創 業／平成12年7月

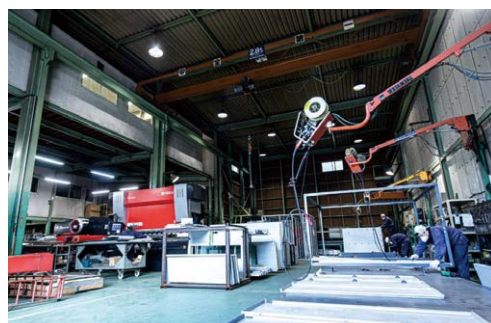
設 立／平成12年7月

資本金／300万円

従業員／11名



環境に配慮した最新鋭レーザ機器



工場では5Sを意識した環境づくり



<https://wako-metal.com/>